

# 長南町 まち・ひと・しごと創生 総合戦略

平成30年8月

長南町

## 10 空き公共施設等の活用事業

### 施策概要・目的

○ 空き公共施設等（空き公共施設の中には、旧小学校跡地や町有地（上小野田地先：空港代替地）なども含む。）の活用を時代に応じた新たなまちづくりテーマとして捉え、幼児から高齢者までの世代間交流事業（企業誘致、官民協働等）を視野に入れ、町内各所の文化的資産・観光資源などをネットワークにより多角的に連動・構築させて活用事業の展開を図っていきます。

具体的な事業	KPI	基準数値	H31 目標数値
担当課：企画政策課（H29 年度追加）			
主な空き公共施設等の有効活用事業（旧小学校跡地、旧幼稚園）			
併設型小中一貫校の開校に伴い（H29年4月）、閉校となった旧小学校跡地（4校）及び空き公共施設等を民間企業のオフィスや作業場・工場などとして活用することで、雇用の場を創出し、地域振興を図っていきます。また、地方創生推進交付金などによる国庫補助事業を積極的に活用し、千葉県等の官官連携事業により幅広く推進して行くものとしします。	企業等の進出・誘致数	1社	5社（法人）
総合計画の位置づけ			
1章1節			

具体的な事業	KPI	基準数値	H31 目標数値
担当課：企画政策課（H30 年度追加）			
空港代替地（上小野田地先）の有効活用事業			
昭和54年以降、長期にわたり千葉県と無償貸借契約をしている土地（県有地面積：46,439㎡）は、周辺外周一帯が全て町の所有土地（137,063㎡）となっており、町が一体的に管理している。今後、集団的な土地のまとまりを有効活用していくため、行政区域の中央に位置していることなども勘案し、公共・公益施設の中心としてふれあい交流センター館を子供から高齢者までを対象とした世代間交流施設などと位置づけ、町が主体となって地域振興や賑わいを取り戻す町の活性化を主眼とする事業展開を図っていきます。	利用方法の決定後に設定	利用方法の決定後に設定	利用方法の決定後に設定
総合計画の位置づけ			
1章1節			